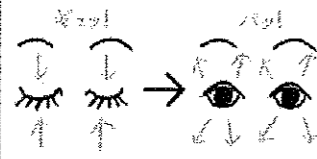


■本部■

近頃、書店には数多くの健康関連本が並んでいます。「1日1分見るだけで目がよくなる 28 のすごい写真」。タイトルに惹かれ、私でも続けられるかも?と思い購入し実践しています。仕事や普段の生活の中で、パソコンやスマホなど目を使う事が多く、視力低下や頭痛・肩こりなど体の不調が現れる人も多いと思います。ストレッチやツボ押しなど自分に合ったやり方で目と気分をスッキリさせ、ご利用者と笑顔で接する事ができるように心がけたいですね。ちなみに、昨年掲載した「一ヶ月でベターっと開脚できる」ストレッチ。効果は…何事も継続が大切です。



■静岡事業所■

2月中旬、ヘルパーの皆さんに活動の合間、事業所に立ち寄ってもらい、交通安全のDVDを見ていただきました。「起こった後ではもう遅い! 自転車事故の恐ろしさ」「潜む危険を予測・回避せよ! ~ある会社員の交通事故」の2本です。当地区のヘルパーは車での移動が4割、自転車が4割、残りが公共交通機関とバイクです。DVDを見た後「気軽に利用している自転車で、『死』という重大事故を起こし、損害賠償されることがあると知り、怖くなった」などの感想が聞かれました。ヘルパーにはいつでも交通ルールを守り、危険を予測した安全運転・歩行を心がけてもらうためこのような企画を継続的にやりたいと考えています。

2月度活動結果報告

ヘルパー会員数	485名	実働数	406名
事業	活動時間数		
くらしの助け合い	3319.50 時間		
介護保険	5692.50 時間		
障害福祉サービス	1489.00 時間		
居宅介護支援	要介護	総合事業・予防支援	
	480名	205名	
施設名	開所日数	当月利用者数	利用者数/1日
どうぞの家	24日	18名	7.50名
夢コープふじ	24日	17名	7.71名
夢コープいた	19日	35名	9.00名

臨時理事会 3月5日(月) 議決事項

①賞与総額についての議決事項

定例理事会 3月22日(木) 議決事項

- ①異動に関する承認事項
- ②給与規程の改定
- ③退職金規程の改定
- ④就業規則改定に伴う諸規程の改定

❖ 年会費のお知らせ ❖

4月1日在籍のヘルパー会員には、2018年度分の年会費 2,000 円を納めていただきます。引き落としは5月1日です。ご承知おき下さい。



2018年4月

今年は桜の開花が1週間程早くなったこともあり、清々しい緑の中で新年度がスタートしました。昨年は、5月の総会で理事長に選出され、経験不足、知識不足に悪戦苦闘しながらの1年でした。この1年を振り返ると、くらしの助け合い・訪問介護ともに活動時間は減る傾向にありますが、支出の見直しや、新しい処遇改善加算Ⅰの算定による増額で、全職種に前年度を上回る額を賞与として支給することが出来ました。

また、2011年から毎年続けている公益財団法人東日本大震災復興支援財団への寄付を今年も行いました。財団からは、就学・進学が困難になった高校生のための「学べる基金」、スポーツを通して子どもたちを応援する「みやぎ夢・復

興」、子どもの様々な体験活動を支援する「福島子どもカプロジェクト」等に支援を行ったと報告をいただいています。子どもたちの明るい未来に少しでも関わられたら嬉しく思います。

夢コープは今年度「ふれあいとあたたかさのある地域社会」の実現のため、より一層地域との関わりを深める年にしたいと考えています。地域の方々に夢コープがあってよかったと思っていただける存在になれるよう努力をしていきます。そして、設立以来の活動理念である「その人らしい生活の自立支援」、専門職として支援する姿勢は、今までもこれからも変わらず大切にしたいと思っております。

理事長 川村千代子

西部事業所初参加

第4回福祉ふれあいわエスタ in はままつ 3月17日(土)

このふれあいわエスタには31の福祉に関する団体が参加し、会場の浜松市福祉交流センターは多くの来場者でとてもにぎわいました。西部事業所はリハビリバンの履き方の紹介を行いました。車いすの方が説明を聞きに来たり、実際に触って感触を確かめている方もいて好評でした。他にヘルパーさん手作りのマイ箸入れやバッグ・日用品のバザーや子供向けには缶バッジづくり体験のコーナーもありました。参加したスタッフは「聴覚障害者の方の対応にはゆつくり口を動かしてみたり、手のひらに文字を書いてみたりと貴重な体験をさせてもらいました。参加者全員が笑顔で優しい気持ちになれた一日でした」と話してくれました。





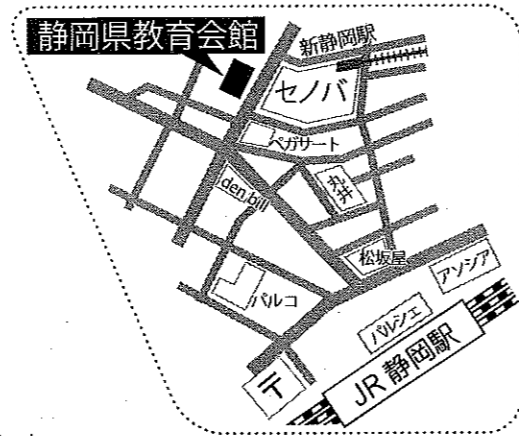
2018 年度通常総会について



2018 年 4 月 2 日
特定非営利活動法人ワーカーズコープ夢コープ
理事長 川村千代子

特定非営利活動法人ワーカーズコープ夢コープの
定款の定めにより、2018 年度通常総会を
下記の通り開催します。

日時：2018 年 5 月 19 日 (土) 10:00 ~ 12:30
会場：静岡県教育会館 4 階大会議室
議案：2017 年度 事業報告
2018 年度 事業計画



*総会終了後、勤続 25 年のヘルパー会員の表彰をします。
*総会議案書が 5 月 11 日 (金) までに届かないときは、本部までご連絡ください。

ヘルパーさんのおしゃべりタイム♪

この仕事って楽しい!

少し偏屈なご利用者 (男性)、訪問当初不安からなのか笑顔がほとんど見られませんでした。週 3 回のご利用でしたが体調不良により、毎日ヘルパーさんが訪問することになりました。
ある日体調を伺うと「良かねえよ!」と相変わらずそっけない返答でした…が…目元、口元がニマリ笑み! (この仕事って楽しい!!) と思えた瞬間でした。
毎日タイプの違うヘルパーさんと接することで気持ちが和らいできたようでした。
ご利用者の気性を自然に受け止め笑顔に変えていくヘルパーさん達の力ですごい! と感じました。 した Y.H

これくらいの怪我で済んで良かった!

強風が吹くある日の朝、自転車で活動に出る時に翻ったレインコートを直して座ろうとしたときに、左足のペダルを踏み外して転倒しました。
すぐに起きて怪我のチェック…手は OK、顔は顎を打ったようでヒリヒリするけれど出血なし、足は左膝小僧を擦り剥いて出血。活動にひびくほどではないけれど、とりあえず気を落ち着かせようと呆然としていたら、通りすがりの女性が「大丈夫? これ使って!」と絆創膏を差し出してくれました。
お礼を言い、幸い時間には余裕があったので、近くのコンビニで傷を洗い絆創膏を貼り、活動に行きました。
翌朝、かけようとしたメガネのフレームが急に割れました。その時は気づかぬ衝撃を受けていたのかもしれませんが。
この程度で済んで良かったのですが、事故はいつ起こるかわかりません。皆さんもお気をつけください。

静岡 S.S



平成 30 年 介護保険制度改定の 基本的考え方から ~新しい責務~

今回の改定は

1. 「地域包括ケアシステムの推進」
2. 「自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現」等に重きを置いています。

1 のためには、医療・介護の役割分担と連携の一層の推進、円滑な情報共有を進める必要があります。4 月よりケアマネジャーは平時からの医療機関との連携が求められ、訪問介護事業所等から伝達された利用者の口腔に関する問題や服薬状況等について主治医に必要な情報伝達を行うことが義務付けられました。よって、サービス提供責任者には、現場での利用者の口腔に関する問題や服薬状況等に関する気づきをケアマネジャー等に情報共有する責務が加わりました。もちろんサー

ビス提供責任者だけで細かい情報を得ることはできません。現場を見ているヘルパーの協力が必要となります。服薬と口腔に関する情報は利用者が健康な生活を維持するために非常に大切です。他職種の情報共有と連携のために、現場で利用者 と接するヘルパーの気づきがより一層大きな意味をもつこととなります。

2 に関しては、自立生活支援のためのヘルパーの見守りの援助について、自立の機能を高める援助は身体介護であると明確化されました。ご利用者ができないから代わりにヘルパーが行うのではなく、どこならできるのかどう工夫すればできるようになるかを考え、サポートし、重度化を防止する質の高い援助の評価が高くなっています。



あ! そういえば…書いてみよう

ひやりハツと報告が変わりました。

これまでのひやりハツと報告は「事故に至らなかったがヒヤッとした」というより「事故になってしまった」ことの報告が多く、始末書的な印象もあって、少し書きづらいものでした。

またヒヤッとしたけれどもうまく対処して事故に至らずに済んだので、ホッと一安心し、活動が終わると忘れてしまっただけで報告書を出さなかった、ということも多々あったと思います。

しかし、何とかもっと気楽に書いてほしいということで、それぞれの事業所が報告用紙のタイトルを「気づいちゃったシート」「私、気づきました」「さくらればーと」などに変え、書式も一新しました。

ご利用者の小さな変化に気づいて共有することが、将来のリスク回避につながると考えます。報告書をいつも手元に持って気がついたことを気軽に書いて出しましょう。